

春夏秋冬

今月の24節気

◆10/8 寒露(かんろ)

野草に冷たい露がむすぶ頃ということで秋の深まりを思わせる命名です。日本の北国ではカエデなどの紅葉で秋色が深まり、カキヤクリなどの収穫期です。

◆10/23 霜降(そうこう)

漢字のとおり、霜が降りる頃という意味で、この時期になると気温がぐっと下がり、空気中の水分が凍って草木の表面が霜になるということだと言われていますが、近年の気候では全くピンときません。

とよほっと新聞

～笑顔de共育で～

令和6年10月1日発行
豊玉保育園
〒176-0013
練馬区豊玉中4-13-6
TEL 3991-4484
FAX 3991-3872

月の主題

思いきり身体を動かそう!!



今月の保育のねらい

- ・戸外活動を十分に楽しみ、落ち着いてじっくりあそぶ
・集団あそびを楽しむ
・運動あそびを楽しむ

10月 行事予定

Table with 3 columns: 日, 曜日, 予定内容. Contains monthly schedule from Oct 1 to 31.



遊びの広がりを楽しみます。



手づくりの水場は大人気です

2024年の秋

今夏は長い期間、連日のように報道された猛暑日の連続でした。九月の中旬にも観測史上最も遅い猛暑日というニュースが流れましたが、ようやく暑さも峠を越えまし



続

絵本は子どもにとってなくてはならない存在のもの
絵本作家の小風さちさんのお話、先月の続きです。とはいうものの、すべてをお伝えするのはなかなか難しいのでわたくしが印象に残っている部分を記したいと思います。



子どもにはありありと見えてくる絵本が話されて

小風さちさんは、赤ちゃんから中学生くらいまでを対象にした絵本を書いていらっしゃる。絵本を作る時、主人公の気持ちになって見たり、感じたりすることを大事にしたいとおっしゃっています。リアリティーを大事にして実際に自分の目で見る、自分の耳で聴くということを実践されています。『わにわのおふろ』の絵本を書く時は熱川のバナナワニ園へ、そして『ゴリラ』の時は、動物園や愛知県のモンキーセンター、さらにアフリカまでマウンテングリラに会いに行き、同じ草むらに座って同じ時間が流れたとおっしゃっていました。すると、それなりのリアリティーが出てくるので、



小風さちさんの、やわらかい語り、聞き手がほっとする空間が醸し出されるひとときの時間を、いつか保護者の皆様とも共有できる日が設定できたらと願いつつ講演会のエピソードを閉めます。

絵本は、絵かきと物書きが一緒になって作ります。絵が言葉を語り、言葉が絵を語るものでなければなりません。思っています。そして、書き手を鍛えてくれたのは子どもとそれを読む読み手。読み手がいるからこそ絵本が生きていくのです。さらに、小風さんのお話の最後に病床にいらしたお父様(松居直・福音館福音館書店 初代編集長)との会話を伝えてくださいました。これ以上、父のことを話すと涙が出てきそうなのでここでお話を終わりにします。という結びの言葉で講演会は終わりました。

ありがとうございました

◆福祉サービス第三者評価の利用者調査へのご協力をありがとうございました。90%と大変高い回収率でした。訪問調査が終了しましたので、フィードバックが届けましたら、集計結果を玄関のカウンターに提示いたします。ぜひご覧ください。

『わくわくプレイデー』のお知らせ

※日時 令和6年10月5日(土)
※場所 豊玉小学校体育館
※3歳児クラス → 9:15~9:45
4・5歳児クラス→10:15~11:30

◆避難訓練は予告なしで実施

◆21日:父母の会主催の人形劇があります全園児が楽しめます